

委員会レポート

経済・建設

一般会計

Q 総合交流ターミナル施設改修工事費のうち、泉源ポンプのオーバーホール（分解清掃）に関する工事が約400万円とのことだが、高額ではないか。

A オーバーホールは使用中のポンプと予備のポンプの計2台についておこなう。ポンプに付随する電気ケーブルの老朽化に伴う交換、温泉水を汲み上げるガラスファイバー製の管の劣化に伴う交換を行うため工費があがっている。

Q 泉源ポンプのオーバーホールについて、無駄な経費がかからないよう、その実施の方法について検討をしているのか。

A 2台一度に実施する場合と毎年1台ずつ実施する場合について、経費や予備の泉源ポンプのオーバーホールの実施時期も含め、今後精査する。



総合交流ターミナル機械設備

Q 農地整備予算に、非農用地売却収入と公有財産購入費の用地費が、歳入歳出ともに8400万円と同額で計上してあるが、どのような計画であるのか。

A この非農用地は、県営迫井手圃場整

文教・厚生

子ども医療費無料化対象拡大について

Q 子ども医療費の対象拡大で喜びの声がある一方、「高齢者福祉」にも、もつとお金をかけて欲しいという声もある。総合的な町づくりの計画の中、どのような位置づけで実施するのか。

A 少子高齢化が進行する中で、子育てに力を入れることが定住促進に効果的と考えている。定住促進によって住民税・固定資産税という収入が増えることで、将来的に財政の安定化も図れる。超高齢社会を迎える中で、担い手を育てるための子育て支援はもちろんだが、他の福祉の施策も含めて「住みよい町づくり」を進めていかな

ければならないと考えている。

Q 中学生まで拡充することによって、年間での程度歳出が増えるのか。

A 2千万円程度と考えている。

一般会計

Q 自殺対策事業について、何をどういうやり方で実施しようとしているのか。

A 担当者は役場に配置し、原則は面談での相談となるが、電話での相談も受け付ける。また訪問も進めていく予定である。職員と臨時職員の2人での対応を考えており、臨時職員は精神保健福祉士か社会福祉士、保健師、看護師等のい

ればならないと考えている。

総務

一般会計

Q 災害時、防火水槽の水を飲料水として利用できないか。

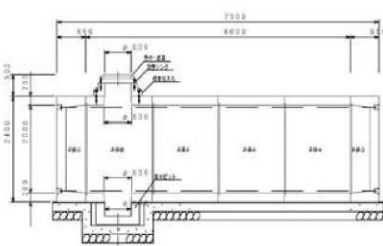
A 防火水槽内の水は消防団の訓練や火災の消火時に使う以外は、溜まったままで、飲料水としての使用は、衛生的にむずかしい。

災害時は、消火栓の水を利用したり、配水池か

ら貯水タンクで水を持つてくる体制をとっている。今後、防火水槽の水を、ろ過して利用することも検討する。

Q 今回、貸与する防災行政無線の戸別受信機の貸与の範囲と台数は。

A 地域の防災リーダーとして活動していただく、区長、民生委員、児童委員の皆様を中心に200台を予定している。



防火水槽断面図



戸別受信機

備事業で、当初から設定された土地改良区の土地である。企業誘致用地においては、土地改良区と町と企業で、売買の話を進めているところであり、決定次第、町が土地改良区から買って企業等に売却する予定である。

Q 地蔵祭の補助金が、増額してあるが、計画はどうか。

A 照明灯を増やし来場者の安全を図る予定であり、踊りについても参加団体、参加者を増やし賑わいを図る。また踊りの曲も若者が参加しやすい曲を導入すべく検討をしている。

Q 太陽光発電システム補助金について、ホンダソルテック製品への補助内容はどうなっているのか。

A 地場企業育成の観点から、ホンダソルテック製品への補助額は1kW当り4万円で補助限度額は20万円、その他のメーカー製品についての補助額は1kW当り2万円、補助限度額は10万円としている。

Q 町道杉水水迫線道路改良事業について、以前も計画されているが中断したのはなぜか。又そよかぜ台団地の通学路でもあり早急に整備すべきではないか。

A 用地交渉時に提示した用地補償費と相手方の駐車場用地やフェンス、舗装工事等の条件が合わなかったため中断したが、今後、計画の進捗を図る。

Q 道路整備の優先順位の付け方はどうなっているのか。

A 各地区よりすぐに対応できる小規模のものから大規模なものまで年間100件以上の要望がある。予算面での考慮、工事効果の見極め等を検討して、まずは側溝や道路の段差など危険度の高いものを優先している。



太陽光発電機

れかを任用する予定である。雇用する専門職は各種団体等への啓発や事業主に対する啓発、面談・相談とゲートキーパー育成、遺族の心のケア等を担う予定である。

Q 社協への補助金にボランティアセンタールの強化とあるがどういった内容か。

A ボランティアセンタールの募集と活動を行い、人とのニーズ調整等を行う。現在、センタールとしてフォロワーが足りていない状況なので、社会福祉士等の資格を持った職員による事務局的な活動を行う予定である。ボランティア連絡協議会の支援や、災害ボランティアセンタールとの連携も行う。

Q 今回、地域の元気に活用しなければもったいないのは分かるが、基金の造成は考えなかったのか。また、繰り越しも想定しているのか。

A 基金の造成はできたが、少しでも早く取り組みたく、基金の造成は行っていない。また、本来は初年度に設計を行い、翌年度に工事を実施するのが理想だが、学校現場と調整を行いつながら、なるべく今年度に完了するよう努めた。オークスの雨漏りについて、何度も修理を繰り返しているが、根本的な原因についての調査・検証はできているのか。

A 設計が悪いが、施工が悪い等について、これから十分に検証・検討しながら工事を実施する。また、検証結果をきちんと引き継いで、今後の事業に生かしていく。



オークスプラザ

Q 戸別受信機は、個人での購入は可能か。

A 役場に相談していただければ、自己負担での購入は可能である。価格は、約4万5千円です。設置工事は不要です。

Q 防災行政無線で放送する情報を携帯電話メールで受信できるようにできないか。

A 携帯電話にメール配信ができるように、現在検討中である。河川監視カメラで夜間の確認はできるのか。

A 24時間静止画を確認することができ、水位などを確認できる。夜間は、太陽光発電システムにより、ライトを照らすので、夜間の確認が可能である。役場のパソコンで確認をしながら、より早い情報の把握に努める。

Q 自主防災組織を立ち上げるときのアドバイスや地域防災訓練の指導をする防災士とはどのような資格か。

A 防災や救急救命に関する幅広い知識や技能を持っていると認められた人で、認定試験はNPO法人日本防災士機構が行っている。町内には5人ほどおられ、肥後大津防災クラブという自主組織をつくって活動されている。



河川監視カメラ